



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」
Engage Rotary Change Lives

2013-14年度 RI会長/ロンD.バートン

RI.D2590ガバナー/市川緋佐磨

横浜旭RC会長/安藤公一

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2013年9月25日 第2120回例会 VOL. 45 No. 12

- 司 会 副SAA 市川 慎二
- 開会点鐘 会 長 安藤 公一
- 齊 唱 それでこそロータリー
SL 杉山 雅彦

■出席報告

会 員 数	35 名	本日の出席数	27 名
本日の出席率	93.10%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

田川、二宮 (麻)

■他クラブ出席者

田川、新川 (地区)、二宮 (麻) (横浜中 RC)

関口 (横浜鶴峰 RC)

■ゲスト

渡部 一樹殿

(ローズホテル横浜宿泊部部長兼セールスマーケティング部部長、

重慶飯店セールス&マーケティング部部長)

森本 雅広殿

岡田 隆殿

■会長報告

まず初めに、先週の体験例会年に7名ものゲストを迎え盛大に開催できたことに対し、増強委員長の内田さん、体験例会発案者である五十嵐さん、そしてゲストをご紹介頂いた二宮さん、太田さん、鈴木さん、杉山さんありがとうございました。もしお越し頂いたゲ

ストの方々からのコメントなど頂ける様でしたら、是非お教え頂きます様お願い致します。一人でも多くの方々にロータリーの活動を知って頂き、一人でも多くの方にご参加頂き、親睦と奉仕活動の幅を広げて生きたいと考えています。次回は2月12日となります。皆さんいまからお知り合いに声かけをお願いします。また、先週ご来訪頂いたゲストの方々には、週報とお礼状を手配しておきます。

岩沼 RC は9月16日に46年目の創立記念日を迎え、昨日創立記念例会を開催しておられます。祝電を手配しておきました。

○地区関係：

1) 9/19 (木)地区大会チャリティーディナー、9/24 (火)地区大会チャリティーゴルフに参加してまいりました。

ご参加頂いた北沢さん、太田さん、斉藤さん、鈴木さんお疲れ様でした。

ゴルフでは、ハンディキャップに恵まれ、天気に恵まれ、同伴者に恵まれたお蔭で西コース組で84名中5位入賞を果たすことができました。東コースには101名、合計で185名も集まり盛況でした。因みに一緒の組で回った川崎麻生 RC の志村さんが優勝でした。

2) 9/27 (金)15:00~ソシア21にて社会奉仕委員長会議が開催されます。千葉委員長宜しくお願いします。同日 IM の実行委員会が開

催されます。今回瀬谷 RC がホストクラブ、我がクラブはコホストですので市川さん宜しくお願いします。

3) 10月18日、19日は地区大会です。皆様のご参加をお願いします。場所は川崎駅に隣接するミューザ川崎となります。お間違い無きようお願い致します。

○クラブ関係

1) 10月17日(木)は旭高校で職業人講和が予定されています。お手伝い頂ける方々、お手数ながら宜しくお願い致します。

2) 連日の催し物となりますが、10月20日(日)は恒例の旭ふれあい区民まつりです。皆さんご予定ください。

3) 来週10月2日(水)18:30より理事役員会を開催します。理事役員の方々、ご予定下さい。討議案件がありましたら、来週例会時までにお知らせ下さい。

4) ラグビー早明戦(国立競技場)12月1日(日)4時を一緒に観にいきませんか?ご興味のある方は、安藤公一までご連絡下さい。

■幹事報告

例会変更のお知らせ

○横浜本牧ロータリークラブ

日時 10月3日(木)国際文化交移動例会

点鐘 11時15分

場所 三溪園 鶴翔閣

当日アメリカ・カナダ大学連合日本語研究センターとの文化交流会を開催致します。

■東日本大震災復興支援委員会 関口 友宏

1) 本日例会後、当所で第2回の委員会を開催しますので、委員の方はお残り下さい。

2) 岩沼 RC の田中社会奉仕委員長から、同クラブが支援する岩沼相野釜ハウス園芸組合への協力要請が来ています。

内容は昨年に引き続き、マスクメロンの購入です。昨年は失敗を恐れ控えめの作付けでしたが、今年は塩害も克服してまずまずの収穫のようです。皆様のご協力を、お願い致します。

■職業奉仕委員会

漆原恵利子

職業奉仕って何というポスターが届いてお

ります。各会員におかれましては、各々事務所等に掲示していただきたく、1枚ずつお持ち帰りくださいますよう、お願い致します。

■交換留学生報告

後藤 英則

9月22日(日)に泉ロータリークラブより秋祭りの招待を受け、交換留学生のナムフォンさんと参加しました。当日はお神輿を担いだナムフォンさんは初めての経験に大変喜んでいました。又、屋台では焼そばとお好み焼を美味しいとほおばっていました。



■ニコニコ BOX(会員敬称略)

安藤 公一/①岡田様、渡部様、森本様、ようこそお出で頂きました。卓話宜しくお願い致します。②昨日の地区チャリティーゴルフコンペでは図らずも5位入賞致しました。

福村 正/①岡田隆様、渡部一樹様をお迎えして。本日の卓話宜しくお願いします。②ゲストの皆様ようこそ!

兵藤 哲夫/千葉さん、岩沼 RC の DVD ありがとうございます。思い出楽しみです。

安藤 達雄/渡部さん、本日の卓話よろしくお祈りします。

吉原 則光/渡部様、ご多用のところ、又悪天候の中おいでくだされ有り難うございます。大変興味深いお話との事で期待しております。

岡田 清七/本日は卓話者と同時に3人参加させていただきました。よろしくお祈りします。

内田 敏/岡田さん、渡部さん、本日はお忙しい中卓話においで頂きありがとうございます。楽しみにしています。

五十嵐 正/①株式会社岡田屋社長岡田隆様、本日はようこそ。いよいよですね。②渡部様、

本日は卓話よろしくお願ひします。

青木 邦弘／①渡部様、今日はよろしくお願ひします。最近中華街はご無沙汰しています。②ナムフォンのカンパ受付しています。

■卓話「中華街の近況」

○卓話者紹介

株式会社岡田屋社長 岡田 隆様



○卓話者プロフィール

渡部 一樹 (ワタナベ カズキ) 様

役職：

ローズホテル横浜 宿泊部部長

セールス&マーケティング部部長 (兼)

重慶飯店

〃

中華街コンシェルジュ (第1期生) 及び横浜市内主要ホテル連絡協議会「三日会」会長

略歴：

1984年(株)海天国際観光 (カイトンコクサイカンコウ) 現在のローズホテル横浜に入社。

レストラン部門・宿泊部門・営業部門・企画部門等、各現場を経て現在に至る

震災後の市内ホテル・観光業界の取り組み、横浜中華街の現況について

2011年3月11日、東日本大震災から、約2年半となりました。

当時の状況としては、年明け1月より業界としては、少しずつでしたが、右肩上がりに推移を致しておりました。

(弊社としても黒字で終了予定)

しかし、3月11日後、状況は一変し業績は急降下をし、弊社に限らず、関東近県の同業他社は大きなダメージを受けました。老舗の旅館でさえも倒産するところがありました。

3月・4月の客室の平均稼働率85%前後ですが、半分以下の40%台まで落ち込み、宿泊・宴会・場合によっては婚礼においてもCXLとなり、売上は激減し、開業以来、ワーストの状況にまで落ち込み、中華街においてもCXLが相次ぎ、さらには中国人の従業員も日本を離れてしまうといったお店もあり、営業すら出来ないお店もあり、先の見えない苦境に立たされました。私も約30年中華街におりますが、ここまで人がいない中華街を見たのは初めてでした。まさにゴーストチャイナタウンでした。

そこで横浜のホテル業界として、この状況を何とかしなくてはと、当時の取り組みと致しましては、とにかく集客を目的とした宣伝活動を行ないました。そこで市内のホテルに呼びかけをし、神奈川県・横浜市の行政の協力を得て、約20社の賛同を得て、各社割引特典等を付けた合同の宿泊プランを作成致しました。そしてチラシ、ポスターを作成し、県内各鉄道会社 (JR・京急・東急・横浜高速鉄道・相鉄・横浜新都市交通・江ノ島電鉄・箱根登山鉄道等) 県内への鉄道会社へ協力依頼をして、無料にて各駅などに掲出していただきました。また、市役所、近隣企業 (横浜信用金庫等) にも店内に掲出を頂きました。

さらに各ホテルはもちろん、YCVB等HPにもプランを掲載するなど、業界を挙げて話題づくりをし、地元FM局 (FMヨゴハマ・FMやまと等にもDJに知人がいたので) にも働きかけ番組内で宣伝を頂き、広報活動を行い集客に努めました。

その成果もあり、その後直後に迎えた稼ぎ時のGWも非常に心配されましたが、ある意味予想に反し、宿泊も高稼働となり、中華街の人出もまざまざでありましたが、訪れた観光客の殆どが首都圏近郊のお客様でした。なぜならば、原発の問題で地方からは放射能を懸念して関東近県は避けられていたので。

そこで、次ぎに我々の課せられた使命は地方に対して、横浜の安全をアピールすることが急務となりました。



その為、更なる手立てとして行なったのが、経費削減が必要な中、市内のホテルや観光施設（マリインタワー・ポートサービス・三溪園、中華街の店舗等）と協力し、あえて地方セールスを強化し、横浜の安全をアピールする事を行いました。ツールとして、横浜市長にも協力を頂き、市長名で「横浜安全宣言の書面」横浜は安全ですので是非来て下さい。といった内容の書面を作成いただきまして、その書面を持参し、日本全国の旅行会社へのセールスに努めました。併せて海外へも同時に行なっております。特に中国・台湾・韓国・香港を中心とし、タイ・マレーシア・フィリピン等の東南アジアのインバウンドセールス。

その後、少しづつ回復し、夏休みには例年並みに近づくほどの人手まで回復を致しました。

但し、代償として、先ずは集客をしなければならず、安売りを余儀なくされたことから、稼働率はそれなりに回復しましたが、単価を大きく落したことにより、売上の回復まではなかなか行かなかったのが現状です。特にインターネットの普及により消費動向が急激変わり、日々、料金変動が可能なインターネットでは、価格破壊が起きました。値下げすることは簡単に出来るのですが、一度下げた料金を取り戻すには、非常に厳しく、更に長く続いたデフレ経済によって消費者は低価格に慣れてしまっていますので、一気に料金を戻すことが出来ず、更なる集客力のアップが求められました。

そこでまた新たな取り組みとして実施したのが、MICE 事業への着手です。

MICE…ミーティング インセンティブ コンベンション イベント。

国内、海外からの誘客も含め、山下エリアのホテル・会議施設・観光施設・交通業界、YCVB との連携により、16 社 (NG・モントレ・ローズ・JAL シティ・ワークピア・ロイヤルホール・マリインタワー・ポートサービス・ロイヤルウイング・交通局・シティアクセス・赤レンガ等) にて「横浜山下 MICE 連絡協議会」を発足し、MICE 事業の集客も実施。本来は、横浜全体で行なっている事業ですが、メインのパンフィコのある MM 地区中心に、更に地域ごとに分けて取り組みを行なっております。(MM・山下・新横浜・横浜) こちらも、旅行会社・各学会・イベント会社等へ合同セールスや招待会を実施しております。

これは宿泊・会議・宴会・アフターコンベンションの全てにおいて効果のある取り組みになり、現在も継続中です。この事業につきましては、横浜市の認定事業に認可され 3 年間助成金を頂き活動しております。

直近では、3 月 16 日、5 社相互直通運転 (みなとみらい線・東急・東京メトロ・東武・西武) に伴い、東京・埼玉地区へのセールス強化を実施。

みなとみらい線 (横浜高速鉄道) の主導の下、山下エリアの集客アップを目的とした「MM21 ライン会」を発足し、山下エリアのホテル、観光施設、中華街の店舗等、約 20 社を会員として、各鉄道会社 (東急電鉄、東武鉄道、西武鉄道、東京メトロ) への協力を依頼し、池袋、川越、所沢等での観光キャラバンを実施、観光施設の割引クーポン券の付いたガイドマップを作成し、配布、また、各社オリジナルとして、埼玉県民向けのプランや (埼玉) ネーミングをつけたカクテル等作成もしている。(今後も継続) 今週 27 日も所沢で実施。

最初に 3 月 16 日、直前に行なった際は認知度も低かったのですが、テレビなどの露出もあり、現在は認知度も上がり、3 月 16 日以降



左:ローズホテル
下:中華街



の元町中華街駅の乗降者数は約2割アップしております。

GW以降懸念されましたが、8月までは、若干月によってバラツキはありますが、ほぼ横ばいで推移しており、連動して、横浜中華街の来街者数も同様に増加傾向にあります。但し、中華街に中華料理を食べる目的だけではなく、散策や観光などの目的で来ている方々が増えている傾向があり、各店舗の売上も比例して2割アップしているわけではない為、決して来街者数が増えたからと言って喜ばしいわけではありません。

参考までに横浜中華街の店舗数ですが、料理・雑貨・土産・クリーニング・靴・など対消費者向けの総店舗数は620店です。その内、中国料理店は226店、その他飲食店が83店、食品系小売店が103店、その他の小売店が119店、サービス業89店となっております。
*但し2010年6月調べ。

中華街の面積は約500m四方（東西南北の牌楼でかこまれたあたり）。大通りの長さは、善隣門～交番までで、約300mです。

来街者数…年間約2,000万人

TDR2パーク合算で、約2,700万人

中華街としても、来街者為の環境整備として昨今問題になっております栗の押売り、ピラ配り廃止など促す為、定期的なパトロールの実施や、集客の為に年間実施されますイベント内容の強化とPRの拡大を国内、海外に発進などを実施し、ここでも、安心・安全な街

づくりをしながら、集客に努めております。

また約12年前からにはなりますが「横浜中華街コンシェルジュ」を立ち上げ、3ヶ月の勉強期間を経て最終試験に合格したものが、その称号を与えられて、私も1期生ですが、現在、約100名在籍しており、各店舗にて来店されたお客様に中華街の楽しみ方等を案内しております。

この11月の「美食節」というイベントにおいては、コンシェルジュによる待ち歩きツアーも実施し、集客や、中華街の楽しみ方を伝える事により、リピーターの獲得を行っております。

また、国内のみならず海外のテレビ局、新聞社、雑誌社等の各イベントの取材等も、積極的に行っており、街の集客力アップの為のPRを行っております。

ホテル、中華街を含め、我々横浜の観光業界はこのような環境下で共存していかなくてはなりません。そこで我々の課せられた使命として必要である1つとしては、やはり横浜は観光地であるということ。

街の集客なくして、発展はなし。そのためにどのように集客をしていくかを常に念頭においております。

まずは、横浜へ、そして中華街へどのように集客していくか、と言う観点では、各社の共通認識となっておりますので、少ないパイを取り合うのではなく、大きなパイを分け合うと言う理想のもと、同業他社、観光施設等の横の連携、協力体制をしっかりと確立し、集客を図っております。他地域と比較しても非常に横の連携は良いようで、私も地方セールスに行く機会がありますが、横浜はホテル同士や観光施設との仲が良いといわれます。更に行政といかに協力をして街全体に集客をするかを行っておりますが、最終的には各社の特徴や個性を出し、いかに自社へ集客するかが本音のところではあります。

さらに観光以外に、皆様のような法人関係のお客様、近隣の皆様に対してもどのようにご利用頂くかを常に考え、

- ・施設を取り巻く環境（立地）
- ・建物等ハード面
- ・サービス等のソフト面
- ・料理の味等を常に安定して、安心・安全の元、提供する。

それを短期・中期・長期のビジョンに分けて、常に状況の変化、ライフスタイルの変化、消費スタイルをウオッチしながら対策を講じ、商品づくりをすることが、我々現場に化せられた使命であり、このたびの震災やリーマンショックを踏まえ、改めて痛感した事は、我々のサービス業界はマイナス要素については、いち早く影響し、プラス要素には回復が一番遅い言う事を再認識致しました。

そのことを十分に踏まえて、日々、何が起きても影響を最小限に抑える努力をしなければならず、常に多方面へアンテナを張り巡らせて、地域や同業他社との連携も行いながら集客を行なわなければいけないということです。と、口で言うのは簡単ですが、実際は大変難しいのですが…。

また、ちょっと話しはそれるかも知れませんが、弊社のホテルマンとして、先ず新入社員に教えている事を少しお話し致しますと、先ずは何はなくとも笑顔で挨拶を基本と致しまして、さらに常に自分で経験をすることを指導しております。

たとえば、中華街のお店で何処が美味しいと良く聞かれたりします。また、観光施設等までどのように行ったら良いか等聞かれたりしたもします。この場合、お客様の好みであったり、歩幅であったり違うわけですから、人の話や、パンフレット等を頼るのではなく、とにかく自分で経験、体験をして、お客様に応じた対応が出来るような感性をもつこと、これが弊社のホテルマンとして将来に役立つと考え、人づくりも、大切な任務と捕らえております。この話しを細かくすると長くなってしまうので、割愛いたしますが、単に売上を上げるために、働く人材の重要性、環境づくりも大切であると考えております。

また、話しは戻りますが、今後の弊社の課

題の1つと致しまして、2020年東京五輪が上げられます。

横浜におきましても、サッカー等の実施などを含め、間違いなく影響があると考えており、7年後とはいえ、既に地元体育協会やスポーツ団体との連携、情報交換を行い地域としての取り組みをしております。

また、スポンサー企業等関連する企業や業界もでてくると思いますので、日々、営業マンには常に意識をして自分の担当する業種、お客様への情報収集に努めるようにしております。実際に某企業においてもオリンピックプロジェクトチームの発足を見当している話しも聞いております。さらに海外からの来街者数も間違いなく増加すると考えておりますので、海外に向けてのセールス活動も既に強化しております。

弊社におきましても、世界約65カ国250地域500ホテルを有するWORLD HOTELSに加盟しておりますので、こちらのネットワークも駆使し、宿泊のみならず、関連する会合や食事などの情報収集を行い取り組みを図っております。

現状(今現在)の横浜を取りまく環境として、東京スカイツリーの開業、TDLの開業30周年の影響もあり、首都圏エリアでは、全体的に稼働率は上昇しております。

参考までに、横浜のホテル業界につきましては、約50社(ホテル)総客数1万室弱となっております。

最後に弊社の宣伝になってしまいますが、ローズホテル横浜も、お陰様でリブランド10周年(通算32年)重慶飯店も再来年で55周年を向かえ、横浜に根付く企業としてこれからも皆様のお役に立てますよう、まい進して参りますので、中華街に御用の際は是非、ご利用の程、宜しく願い申し上げます。

つたない話で誠に恐縮ではございますが、長時間ご清聴頂きありがとうございます。

■次週の卓話

職業奉仕フォーラム

週報担当 川瀬恵津子